



調査国・情報文書

バングラデシュ

2008 年 12 月 17 日 非常事態解除

2008 年 12 月 29 日 総選挙実施

2009 年 1 月 21 日

英国国境局
調査国・情報サービス

目次

	段落
序文	i
要約と背景	1
非常事態解除.....	6
2008 年 12 月 29 日の総選挙.....	8
バングラデシュ選挙委員会	9
新しい有権者名簿（選挙人名簿）	10
新しい選挙規則	12
選挙の「ロードマップ」	13
総選挙を争った政党	16
総選挙の結果	18
投票率	20
来たる補欠選挙	21
選挙結果に対する反応	22
暴力行為の報告	24
国際監視員による報告	27
追加的な女性国会議員	30
新政府	31

原資料リスト

序文

- i この調査国・文書（COI 文書）は、英国国境局（UKBA）・調査国・情報サービス（COIS）によって作成されました。その目的は、2008 年 12 月の暫定政府による非常事態解除、及び 2008 年 12 月 29 日の総選挙の結果に関する詳細を提供することにあります。同文書には 2009 年 1 月 16 日までに入手可能な情報が盛り込まれています。同文書は 2009 年 1 月 21 日に発行されました。
- ii この COI 文書は、亡命・人権に係る意思決定過程に関与する UKBA の職員に対して背景情報を提供するために準備されました。同文書は認知度の高い様々な情報源から得られる情報によって作成され、それらの情報源は文書の至る所で参照されています。同文書には英国国境局のいかなる意見・政策も反映されていません。
- iii 同文書は包括的な調査を目的とするものではありません。さらに詳細な報告については、関連の情報源の文書を直接参照してください。同文書はバングラデシュに関する既存の COI 報告とつき合わせてお読みください。
- iv 同文書と添付の情報源リストは公開されています。同文書内で特定された情報源が電子書式で利用可能な場合、その関連リンクが掲載されています。

調査国・情報サービス
英国国境局
Apollo House
36 Wellesley Road
Croydon CR9 3RR
United Kingdom

Eメール：cois@homeoffice.gsi.gov.uk

ウェブサイト：http://www.homeoffice.gov.uk/rds/country_reports.html

調査国・情報に関する諮問委員会

- v 独立の調査国・情報に関する諮問委員会（APCI）は、UKBA の調査国・情報の資料内容について内務大臣に勧告する目的で 2003 年に設立されました。APCI は複数の UKBA の報告書を見直し、その結果は同局ウェブサイト www.apci.org.uk で公表されています。2008 年 10 月以降、APCI の任務は UKBA の主任調査官によって遂行されています。

目次に戻る
原資料リストへ

要約と背景

要約

1. バングラデシュで 2007 年 1 月に発令された非常事態宣言は、2008 年 12 月 17 日に解除された。2008 年 12 月 29 日の総選挙を経て民主的に選出された政府である、シェイク・ハシナが率いるアワミ連盟党による政府が政権を引き継ぎ、2006 年 10 月から政権の座にあった暫定政府にとって代わった。

背景

2. 2008 年 9 月 25 日付 の英国国境局（UKBA）バングラデシュ COI 報告書で詳述されているように、同国憲法は、一院制議会ジャティヨ・シヨンショドにおける 5 年毎の 300 議席をめぐる選挙を規定している。各選挙区の議員は比較多数得票主義による単純多数によって選出される。憲法に規定された国家元首、即ち大統領は、5 年の任期で議会によって選出されるが、平時では名目上の元首に過ぎない。首相が執行権を有している。1996 年 3 月に通過した憲法修正 13 条に基づき、無党派の暫定政府は各総選挙に先立つ最長 3 カ月とされる一定期間、政権を担う。政治的に中立な主席顧問が暫定政府を率いる。主席顧問は首相の地位に当たり、事実上は政府大臣である 10 人までの無党派の顧問とともに政権を運営をする。暫定政府には第一に、選挙委員会に対して「議員の総選挙を平和的に公正かつ公平に実施するのに必要とされる援助と支援を可能な限り」与える、という責務がある [1]（セクション 6、49-50 頁）。
3. 前回、民主的に選出された政府の 5 年の任期においては、カレダ・ジア首相率いるバングラデシュ民族主義党（BNP）主導の連立政権が政権にあり、2006 年 10 月 27 日に任期満了で退陣した。その後、暫定政府が政権に就いた。二大政党のどちらにとっても容認可能な候補者がみつからなかったため、大統領自らが主席顧問の役割を担った。総選挙は 2007 年 1 月 22 日に予定されていた。しかし、大規模な街頭デモやストライキ、及び敵対する政治グループを巻き込んだ武力衝突の勃発の問題のみならず、選挙委員会の構成や現行の有権者名簿の正確さといった問題に関して両党間に意見の一致がみられなかったため、2007 年 1 月 11 日、大統領は非常事態を宣言した。さらに大統領は、有権者名簿の間違いを訂正し、「自由で公正、かつ信頼できる」選挙を実現する条件を確定する時間が必要だとして、総選挙を無期限延期する、と宣言した。新暫定政府は、一般に政治的に中立であると認識されている元中央銀行総裁ファクルッディン・アーメド博士のもと、2007 年 1 月 12 日に発足した。多くの評論家は、非常事態宣言は軍部の強い要請によって発令され、実際、将軍たちは国内で絶対権力を行使している、という見解を表明していた（UKBA COI 報告書 2008） [1]（セクション 4、27-31 頁）。
4. 非常時政権令 2007 は非常事態の期間中有効で、それによって政党活動、報道の自由、集会の自由、及びその他の一定の憲法上の権利が厳しく制限された。暫定政府（CTG）は、バングラデシュの政治とビジネスに蔓延している高い汚職率を撲滅する意思を表明した。2007 年 2 月から 3 月にかけて、政府は反汚職委員会（ACC）を再構築・強化し、容疑者を捜査・逮捕し、財産差し押さえることができるという新しい権限を与えた。ACC は、その活動において憲兵統合部隊

に支援される予定だった。2007 年 10 月までに、200 人を超える代表的な政治家、公務員、実業家、及び名も無き多くの人々が汚職関連の活動、脱税、あるいは非常時政権令の規定違反の容疑で逮捕された。事案の審理のために 5 つの特別法廷が開かれた。2008 年の 5～6 月にはさらに厳しい逮捕の波が起こった。拘留された人々の中には、地区・区・市町村レベルにおける政治指導者や活動家も何人かいた。2007 年 7 月、アワミ連盟の党首シェイク・ハシナが逮捕、拘留された。1996～2001 年の首相の任期中に遡り、汚職（恐喝）の罪を問われたのである。CTG は以前にも、彼女が外国旅行からバングラデシュに帰国するのと阻止しようとしたことがあった。前首相の BNP 党首カレダ・ジアも同様に、汚職関連の罪で 2007 年 9 月に拘留されている。息子のタリクは 2007 年 3 月からすでに刑務所におり、公判を待っていた。もう 1 人の息子は尋問のために拘留されていた。ハシナの裁判は 2007 年 12 月に開始されたが、その後、一時休止となった。2008 年 6 月、アワミ連盟と BNP は、両党の指導者が拘留されている間は CTG との選挙関連の話し合いには参加しないと声明した。その後、まずシェイク・ハシナが、そしてカレダ・ジアが保釈された。両者ともにいかなる刑法違反もなかったとして、国会議員選挙への出馬資格を引き続き有している（UKBA COI 報告書 2008）[1]（セクション 4、29-30 頁；33-39 頁）。

5. 2008 年 5 月 18 日、高等裁判所は、ビハール人（「立ち往生しているパキスタン人」）に対し、ビハール人も有権者として登録され、バングラデシュ市民として認められる資格があるという主張は有効であると宣言した。その裁定は、1971 年にバングラデシュが独立した際に少数民族であった人々、あるいはその後同国内で生まれた約 15 万のビハール人に適用された（UKBA COI 報告書 2008）[1]（セクション 4、45 頁、及びセクション 22）。

目次に戻る
原資料リストへ

非常事態解除

6. 2008 年 2 月以降、選挙委員会は暫定政府に非常事態の解除、もしくは少なくとも一部の解除を要請していた。その目的は、2008 年 4 月に行われる予定の一部の地方選挙及び来るべき総選挙に向けて政党が選挙運動を開始できるようにすることにあった（「ザ・デイリー・スター紙」、2008 年 2 月 6 日及び 12 月 2 日）[3h] [3k]。2007 年 9 月、政府は政党集会の禁止を緩和したが、集会は屋内のみの開催で、ダッカ首都圏のみに限られていた（「ザ・デイリー・スター紙」、2007 年 9 月 10 日）[3g]。
7. 2008 年 12 月 17 日、大統領は非常事態を完全に終結させる命令に署名した、と報じられた（BBC ニュース）[10a]。

[目次に戻る](#)
[原資料リストへ](#)

2008 年 12 月 29 日の総選挙

8. 国連開発計画（UNDP）は、2009 年 1 月 11 日付のプレスリリースにおいて次のように言及している。「バングラデシュの第 9 回国議員選挙は、同国の歴史において最も透明性があり、信頼のできる平和的な選挙として認識されている」 [8b] 。

バングラデシュ選挙委員会

9. バングラデシュ選挙委員会（BEC）は憲法で規定された独立の組織であり、大統領によって任命される（BEC、2009 年 1 月 15 日アクセス） [2e]。2007 年前半、暫定政府は選挙委員会を再構築する措置を取り、アワミ連盟や他の政党が政治的に中立であるとみなしていない委員を交代させた。2007 年 2 月 4 日、大統領は公務員の人事部長である ATM サムスル・フダ博士を 5 年の任期で委員長に指名した。彼には二人の委員が補佐に就くことが認められた（UKBA COI 報告書 2008） [1]（セクション 4、40-42 頁）（BEC、2009 年 1 月 15 日アクセス） [2c]。2008 年 1 月 29 日、暫定政府は選挙委員会事務局令 2008 を承認し、選挙委員会事務局を首相の執務室から（後に CTG の主席顧問の執務室からも）独立させた（「インデペンデント紙」、2008 年 1 月 31 日） [9a] 。

新しい有権者名簿

10. 2007 年 3 月 22 日、選挙委員会は、もはや信頼のできない現行のものに代わる完全に新しい有権者名簿（選挙人名簿）を作成することを発表した。このコンピュータによる新しい選挙人名簿には、推定 8 千万人の有権者の詳細と写真が掲載され、国家が発行する新しい身分証明書と並行して準備されることになった。この大規模なプロジェクトは 2007 年 8 月から実施され、終了までに約 1 年かかるとされた（UKBA COI 報告書 2008） [1]（セクション 4、40-42 頁）。2008 年 10 月 14 日、写真付の 8,110 万人から成る有権者名簿が選挙委員会に提出された。実地調査と有権者登録は 2008 年 6 月に完了している（「ザ・デイリー・スター紙」、2008 年 10 月 15 日） [3c] 。

11. UNDP は、2008 年 12 月 25 日付のプレスリリースにおいて以下を報告している。

「バングラデシュは、7 年ぶりの国会議員選挙に向けて速度を上げ、コンピュータによる国家の新しい有権者名簿の独立監査を全国規模で行うことによって、名簿に掲載された名前のすべてが適法の有権者であり、有権者はほとんど余すところなく名簿に掲載されている、と結論付けている。バングラデシュにおけるこの前例のないコンピュータを使用した写真付きの有権者名簿には、8 千万人以上の有権者の写真が盛り込まれており、作成に 11 カ月を要している。…コンピュータを使用した有権者名簿の独立監査はワシントンに拠点を置く国際選挙制度財団（IFES）が行い、全国の選挙権を持つ約 1 万 7 千人の個人について 2 度にわたるサンプル調査を行った。独立監査は、有権者名簿は『高度な正確さ』を持って作成されていると結論付けた。また『幽霊有権者』は、2008 年の写真付き有権者名簿には見当たらなかったことを証明した」 [8a] 。

新しい選挙規則

12. 2007 年 4 月及び 5 月、選挙委員会は複数の選挙改革を提起した（UKBA COI 報告書 2008）[1]（セクション 4、40-42 頁）。2007 年後半、政党との協議を重ねた後、これらの提案の大部分は人民代表（修正）令（RPO 2008）によって実施されている。その中には以下のようなものがある。例えば、
- 候補者は、例えば重大な刑法違反を犯し、有罪とみなされた場合（非常時政権令下における場合を含む 2 年以上の投獄歴）、あるいは債務不履行があった場合、出馬資格を喪失することがある。
 - 候補者指名書類には、資産、収入源、学歴について詳細を記されなければならない。有権者はその情報にアクセスすることができる。
 - 選挙に参加登録するためには、政党はとりわけ、財政諸表を透明性のあるものにし、いかなる付属の職能組織も切り離し、また宗教・人種・階級・言語・性別に関して憲法に基づいて差別をしないことが求められる（BEC、2009 年 1 月 13 日アクセス）[2b]。

選挙の「ロードマップ」

13. 2007 年 7 月 15 日、選挙委員会（EC）は、2008 年末までには明らかに実施されるであろうと述べる総選挙を最終目標とする包括的な「ロードマップ」を発表した。また、提案する地方選挙の実施時期も提示した（UKBA COI 報告書 2008）[1]（セクション 4、41 頁）。新しい有権者名簿、政党の登録、区域設定、及びその他の重要プロジェクトに対して正式な予定を設定することはさておき、そのロードマップでは、2007 年 9 月から 11 月にかけて、EC が選挙改革への提案について各政党と対話を行うための措置が取られている（上記「新しい選挙規則」を参照）（「ザ・デイリー・スター紙」、2007 年 7 月 16 日）[3m]。
14. 2008 年 4 月、EC は、2001 年の国勢調査の結果とほぼ一致する形で 133 の選挙区の境界を再設定した、と発表した（「ザ・デイリー・スター紙」、2008 年 4 月 30 日）[3j]。
15. 2008 年 11 月 2 日、EC は、総選挙は 12 月 18 日に実施されると宣言した（「ザ・デイリー・スター紙」、2008 年 11 月 3 日）[3n]。しかし、BNP 及び他の政党から抗議があった後の 11 月 24 日、EC は、総選挙は 2008 年 12 月 29 日に実施し、指名は 11 月 30 日に締め切る、と発表した。地方選挙は 2009 年前半に実施されることになった（BBC ニュース、2008 年 11 月 24 日）[10e]。

[目次に戻る](#)
[原資料リストへ](#)

総選挙を争った政党

16. EC は、政党が総選挙に参加するためには、2008 年 10 月 20 日までに登録をするよう求めた。100 を超える政党が登録申請したが、そのうち人民代表令 2008 に規定される基準を満たしたのはわずか 39 政党のみであった。実際には、これら 39 政党のうち 38 党が候補者を擁立した。さらに、148 人の個人が無所属で立候補した（「ザ・デイリー・スター紙」、2009 年 1 月 1 日）[3a]（人民代表令 2008）[2b]。

17. バングラデシュの二大政党は、アワミ連盟（AL）とバングラデシュ民族主義党（BNP）である。2001 年の国会議員選挙では、二党で全投票数の 80%以上を確保した（UKBA COI 報告書 2008）[1]（セクション 3、16-17 頁）。2008 年の選挙を争うために、両党ともに他の複数の政党と連合を維持している。それは、アワミ連盟率いる 14 の党からなる Mohajot、即ち「大連合」と、BNP 率いる「四党連合」である（BBC ニュース、2008 年 12 月 12 日）[10g]。AL と BNP の政策は概して類似している。しかし、各党首間には反発があると言われており、また支持者間の抗争がしばしば暴力行為へと発展している（UKBA COI 報告 2008）[1]（セクション 17）。「ザ・デイリー・スター紙」に寄稿している M.B. ナクヴィの言葉を借りれば、AL は「シェイク・ムジブル・ラーマンの、臆するところなく宗教色を排したベンガル・ナショナリズムとバングラデシュの社会主義政策の概念の受遺者である」（シェイク・ハシナの父であるムジブル・ラーマンは同国の初代首相であった）[3f]。このように、AL は宗教色を排した見解を持ち、その経済政策は市場志向とはいえ、介入主義的な傾向がある。一方、BNP はより自由市場志向で、民間セクターが主導する成長を推奨している。しかし、連合する政党のうち、ジャマート・エ・イスラーミとイスラム教の単一性の前部の 2 党はイスラム原理主義政策を公言している（国家大事典、2009 年 1 月 16 日アクセス）[11]（エコノミスト・インテリジェンス・ユニット国別情報 2008）[7d]（7-8 頁）。

総選挙の結果

18. バングラデシュ選挙委員会のウェブサイト（2009 年 1 月 13 日アクセス）で公表された結果（「非公式」マーク付き）は、以下の通りであった。

	議席数	
アワミ連盟率いる「大連合」：		
アワミ連合	230	
国民党—エルシャド派	27	
国家社会主義党（SD）	3	
労働者党	<u>2</u>	262
BNP 率いる「四党連合」：		
バングラデシュ民族主義党（BNP）	30*	
ジャマート・エ・イスラーミ	2	
バングラデシュ国民党（BJP）	<u>1</u>	33
自由民主党		1
無所属候補		<u>4</u>
合計		<u>300</u>

*2009 年 1 月 12 日発表のノアカリ-1 での結果を含む。[2a]

19. 一部の注目すべき 2001 年総選挙結果との比較：

	2001（議席）	2008（議席）
アワミ連盟	62	230

バングラデシュ民族主義党（BNP）	193	30
ジャマート・エ・イスラーミ**	17	2
イスラム教の単一性の前部（IOJ）**	2	0

** ジャマート・エ・イスラーミ及び IOJ は、バングラデシュの主要なイスラム原理主義政党であり、両党ともに 2001～2006 年の BNP 率いる連立政府のメンバーであった。

[2a] [1]（セクション 3）

投票率

20. 2008 年 12 月 29 日、全登録有権者の 87.03%に相当する 7,030 万人が投票した。投票所は 35,158 カ所であった（「ザ・デイリー・スター紙」、2009 年 1 月 6 日）[3b]。

来たる補欠選挙

21. 2009 年 1 月 4 日、選挙委員会は補欠選挙を 2009 年 2 月末までに少なくとも 6 の選挙区において実施することを確認した。これは主に、主要な政党党首も含めて一定の候補者が、12 月 29 日に、それは法的に権利があつてのことではあつたが、2 つ以上の選挙区で立候補し議席を勝ち取ったという事実によって余儀なくされたものである（bdnews24）[6a]。

目次に戻る
原資料リストへ

選挙結果に対する反応

22. アワミ連盟の圧勝は多くの評論家にとって驚きだった。その一因は、以前は保守派の党とみなされていた AL が実際的かつ進歩的な一連の政策を提示し、若年層や初回投票者に訴えかけたためと示唆された。一方、BNP と BNP に連合した党は、ネガティブ・キャンペーンをより頻繁に張ったと報じられている（エコノミスト・インテリジェンス・ユニット、2008 年 12 月 30 日）[7c]。
23. 2008 年 12 月 30 日にBBCニュースが報道したところによると、BNP 党首カレダ・ジアは選挙結果を拒否すると言ひ、記者に次のように語った。「我々は、国中の多くの投票所で不正などの違反行為があつたとの報告を確認している。…現在、さらに多くの違反行為についての詳細を収集しているところであり、数日のうちにメディア及び関係当局にその詳細を提出するつもりである」[10f]。にもかかわらず、BNP の高官は、2009 年 1 月 7 日、BNP の憲兵が「民主主義、国益、及び民主的過程を継続するために」新しい国会の最初の議会に立ち会うことを確認している（「ザ・デイリー・スター紙」、2009 年 1 月 8 日）[10d]。

暴力行為の報告

24. 2001 年の総選挙に付随して深刻な暴力行為が起こっている。選挙の準備期間中、AL と BNP の支持者間の激しい反目によって少なくとも 140 人が死亡している。暴力行為のために、いくつかの選挙区では投票を一時中止しなければならなかった。選挙結果が発表された後も、不穏な状態が続いた。例えば、少数民族であるヒンズー教徒の住む地域へ深刻な組織的襲撃が行われた（UKBA COI 報告書 2008）[1]（セクション 21、105-106 頁）。

25. 暫定政府は、2008 年に同様の行為が起こることは許されないと言明した。12 月 18 日から国中の安全保障を強化した。選挙当日、60 万人以上の警官と軍人が動員され、その半数は 3 万 5 千カ所の投票所に配置された（BBC ニュース、2008 年 12 月 17 日）[10a]。
26. しかし、2009 年 1 月 15 日、ダッカに拠点を置く NGO のオディコールは、選挙後に国内の様々な地域で 6 人が殺され、206 人が負傷したと報じている。事件では、主に AL と BNP 及びその連合する党の支持者が巻き込まれている [5a]。「稀なる政治的友好のそぶりをみせつつ」、AL、BNP、及びジャマート・エ・イスラーミはクルナ地区で合同会議を開き、選挙後の暴力について協議し、その後、支持者たちに自制を呼びかけている（「ザ・デイリー・スター紙」、2009 年 1 月 13 日）[3i]。

[目次に戻る](#)
[原資料リストへ](#)

国際監視員による報告

27. 2008 年 12 月 30 日付の BBC ニュース記事によると、海外からの 2,500 人を含め、約 20 万人の監視員が総選挙を監視した [10b]。
28. UNDP は、2008 年 1 月 11 日のプレスリリースにおいて以下のように言明している。

「バングラデシュの選挙のために国連事務総長の潘基文によって設置され、国連上級職員及び選挙専門家で構成される高官パネルは、非常に高い投票率と少数民族の高い参加率を指摘しつつ、選挙委員会は信頼性と公正さのある投票を実施した、と述べている。選挙日に配置された国内の 20 万人以上、及び海外からの 500 人の選挙監視員も同様に、選挙は高レベルの民主的な基準を課して、平和的で透明性を持ち、かつ信頼できるものであった、と答申している」[8b]。
29. 国内に 70 人の監視員を配置した自由選挙のためのアジアネットワーク（ANFREL）は、信頼できる選挙が実施され、個別に存在した選挙法違反が全投票過程に影響を及ぼしたとは思わないと報告した（2008 年 12 月 31 日、バングラデシュ通信社）[4d]。また、英連邦選挙監視団は記者会見で、重大な違反行為があったという BNP の主張を裏付けるいかなる証拠もみつからなかった、と語っている（2008 年 12 月 31 日、バングラデシュ通信社）[4e]。同様に、欧州連合選挙監視使節団も、BNP が主張するような「選挙操作」が行われたという証拠をみつけない。また同使節団は、総選挙は自由で公正、かつ透明性のあるもので、高い投票率をもって平和的に実施された、と報告している（「ザ・デイリー・スター紙」、2009 年 1 月 1 日）[3i]。

追加的な女性国会議員

30. 2004 年 5 月、ある 1 つの憲法修正条項によって、国会における議席数が 300 議席から 345 議席に増加した。追加的な 45 議席は女性に当てられる。追加的な女性国会議員は、総選挙における各政党の支持率に比例して選出される

(UKBA COI 報告書 2008) [1] (セクション 3、18 頁、及びセクション 25)。実際、これにより新しい国会におけるアワミ連盟の優勢はさらに増すことであろう。

新政府

31. 2009 年 1 月 6 日、アワミ連盟の党首シェイク・ハシナが首相の座に宣誓就任した (BBC ニュース、2009 年 1 月 6 日) [10c]。首相は、「ザ・デイリー・スター紙」が述べるところの「バングラデシュ政府の勇気ある、新しい、性差別に敏感な顔」を作り上げるために、内閣閣僚人事において党内の「保守派」の多くを避け、概して若い人材を「大胆にも」指名した。その中には 4 人の女性と 3 人の少数民族が含まれていた。新内閣閣僚には汚職罪で告訴された者はいない。首相は、主要な消費財の価格を下げ、また法と秩序を維持することが自らの内閣の最優先課題である、と言明している (「ザ・デイリー・スター紙」、2009 年 1 月 7 日及び 12 日) [3d] [3e]。

[目次に戻る](#)
[原資料リストへ](#)

原資料リスト

内務省は、外部のウェブサイトの内容に責を負わない。

- [1] **Country of Origin Information Service, UK Border Agency**
Bangladesh COI Report dated 25 September 2008
http://www.homeoffice.gov.uk/rds/country_reports.html
- [2] **Bangladesh Election Commission (website)**
<http://www.ecs.gov.bd/English/>
 - a Total seats won by political parties (unofficial) (Accessed 13 January 2009)
<http://123.49.39.5/result/report4.php?lang=en>
 - b Representation of the People (Amendment) Ordinance 2008 (Accessed 13 January 2009) <http://www.ecs.gov.bd/MenuExternalFilesEng/236.pdf>
 - c Chief Election Commissioner and Election Commissioners
http://www.ecs.gov.bd/English/MenuTemplate1.php?Parameter_MenuID=8&ByDate=0&Year= (Accessed 15 January 2009)
 - d Electoral roll with photograph (Accessed 15 January 2009)
http://www.ecs.gov.bd/English/MenuTemplate1.php?Parameter_MenuID=48&ByDate=0&Year=
 - e Constitution of Bangladesh: Part VII (Elections) (Accessed 15 January 2009)
http://www.ecs.gov.bd/English/QLTemplate1.php?Parameter_QLSCat_ID=33&ByDate=0&Year=
- [3] **The Daily Star, Dhaka**
<http://www.thedailystar.net/archive.htm> (Accessed 12 January 2009)
 - a Double blow: 1 January 2009
 - b No confusion over high turnout: 6 January 2009
 - c List of 8.11cr voters handed over to EC
 - d Hasina sworn in as PM: 7 January 2009
 - e Sheikh Hasina's cabinet: Gutsy but risky: 12 January 2009
 - f A Pakistani viewpoint: 18 December 2006
 - g Ban on indoor politics relaxed: 10 September 2007
 - h EC wants politics ban to go by March: 6 February 2008
 - i Observers find no irregularities: 1 January 2009
 - j 133 constituency boundaries changed, Dhaka gets 20 seats: 30 April 2008
 - k Emergency to be lifted before polls: 2 December 2008
 - l Parties unite to stop post-poll violence: 13 January 2009
 - m Voter list by Oct '08, poll by Dec: 16 July 2007
 - n EC declares polls fixture: 3 November 2008
- [4] **United News of Bangladesh (UNB News Agency)**
(Accessed via Thomson-Reuters DataStar)
 - a Private Homes Raided for 'Immorality', 28 March 2008
 - b Two More Executions for Homosexual Conduct, 22 November 2005
 - c The issue is torture, 31 March 2008
 - d Dec 29 election conducted with credibility: ANFREL: 31 December 2008
 - e Commonwealth Observer Group finds no evidence to justify BNP's claim of election under a blueprint: 31 December 2009
- [5] **Odhikar, Dhaka**
Reports and news releases by subscription:
 - a Human Rights Report 2008, dated 15 January 2009.

- [6] **BDNews24.com website**
a By-elections in Feb, DCC poll in March: 4 January 2009
- [7] **Economist Intelligence Unit (EIU)**
Reports and news releases by subscription:
a Bangladesh Country Report: December 2008
b Bangladesh politics – Emergency rule lifted: 17 December 2008
c Bangladesh politics – Awami win: 30 December 2008
d Bangladesh Country Profile 2008
- [8] **United Nations Development Programme (UNDP)**
<http://www.undp.org.bd/index.php?cal=c> (Accessed 16 January 2009)
a Bangladesh electronic photo voter list gets excellent rating from international audit team: 25 December 2008
b Professionalism, transparency and credibility: UNDP supports Bangladesh's return to democracy: 11 January 2009
- [9] **The Independent (Dhaka)**
<http://www.independent-bangladesh.com/>
a Govt frees EC secretariat: 31 January 2008
- [10] **BBC News**
<http://news.bbc.co.uk/>
a Bangladesh lifts emergency rule: 17 December 2008
b Hasina wins Bangladesh landslide: 30 December 2008
c Democracy returns in Bangladesh: 6 January 2009
d BNP to join parliament on first day: 12 January 2009
e Bangladesh election is deferred: 24 November 2008
f Khaleda Zia rejects 'rigged' poll: 30 December 2008
g Bangladesh poll campaign begins: 12 December 2008
- [11] **Encyclopedia of the Nations**
www.nationsencyclopedia.com
Bangladesh: Politics, government and taxation. (Accessed 16 January 2009)
<http://www.nationsencyclopedia.com/economies/Asia-and-the-Pacific/Bangladesh-POLITICS-GOVERNMENT-AND-TAXATION.html>

目次に戻る